

## 警察署再編地域における治安情勢等について

### 1 警察署の再編概要

小規模警察署の統合により規模を拡大することで事態対処能力の向上を図るため、令和3年3月、たつの警察署と佐用警察署を統合して「たつの警察署」、朝来警察署と養父警察署を統合して「南但馬警察署」、豊岡南警察署と豊岡北警察署を統合して「豊岡警察署」をそれぞれ設置した。

(別紙1参照)

### 2 再編地域における治安対策

- (1) 地域住民の安心感、利便性の確保  
警察センターの設置及び連絡調整官（警部）の配置
- (2) 地域に密着した警戒活動の確保  
ア 交番、駐在所及びパトカーによる警戒強化  
イ 各警察センターに第二機動パトロール隊の分駐所を設置
- (3) 警察本部による支援体制の確保  
ア 広域多機能部隊の配置  
イ 運転免許更新事務の継続  
ウ 捜査支援体制の強化

### 3 再編後の治安情勢

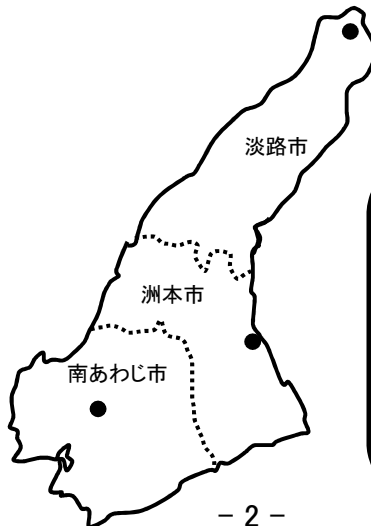
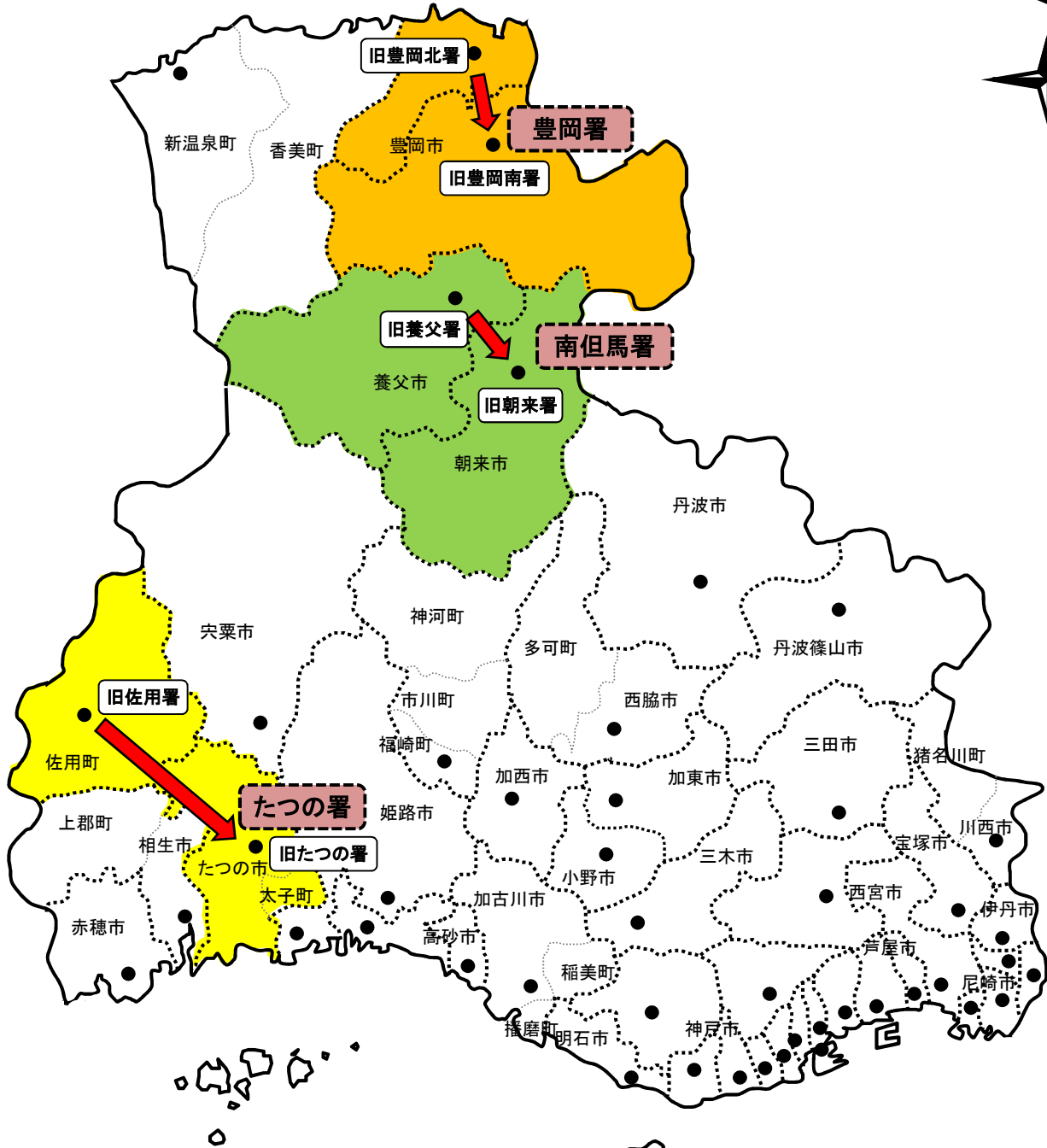
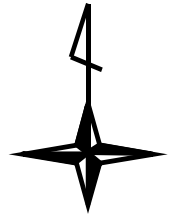
- (1) 管内情勢の指標  
刑法犯認知件数、110番通報件数及び人身交通事故発生件数については、再編前過去3年間と再編後3年間の年平均件数を検証すると、概ね減少。  
(別紙2参照)
- (2) その他  
地域住民からは「パトカーをよく見かけるようになり、安心している」などの好意的な意見が寄せられている。

### 4 結果

再編地域においては、治安対策の効果もあって、治安情勢は安定しており、更なる対策を必要とする情勢にない。また、警察本部による支援体制の確保により、再編地域を中心に、広域にわたる治安維持力の向上につながっている。

今後も、治安情勢の変化を踏まえ、住民の安全を守るための力強い警察を確立し、地域住民の安心感の確保に努めていく。

## 兵庫県警察警察署等再編図



- 凡 例
- 警察署管轄区域境界線
  - 自治体境界線
  - 警察署所在地

刑法犯認知件数（年平均）				
	再編前	再編後	増減数	増減率
全署平均 （1署当たり）	604.3	725.3	121.0	20.0%
旧佐用署	67.3	42.0	-25.3	-37.6%
旧養父署	75.7	69.3	-6.4	-8.4%
旧豊岡北署	37.3	28.0	-9.3	-25.0%

110番通報件数（年平均）				
	再編前	再編後	増減数	増減率
全署平均 （1署当たり）	8067.3	8774.5	707.2	8.8%
旧佐用署	566.7	565.7	-1.0	-0.2%
旧養父署	1437.3	1439.3	2.0	0.1%
旧豊岡北署	555.3	489.3	-66.0	-11.9%

人身交通事故発生件数（年平均）				
	再編前	再編後	増減数	増減率
全署平均 （1署当たり）	428.6	357.5	-71.1	-16.6%
旧佐用署	23.3	18.3	-5.0	-21.6%
旧養父署	62.3	45.0	-17.3	-27.8%
旧豊岡北署	18.3	11.0	-7.3	-40.0%

※ 再編前は平成30年4月1日～令和3年3月末（3年間）  
再編後は令和3年4月1日～令和6年3月末（3年間）  
数値の小数点以下第2位は四捨五入

## 県警察保有ヘリコプターの減機予定について

### 1 対象となる機体

小型多発ヘリコプター・ひよどり（レオナルド式A109E型・イタリア製）  
平成18年3月9日（平成17年度）配備

#### ※ 県警察保有ヘリコプター

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 中型多発ヘリコプター<br>フェニックス（エアバス・ヘリコプターズ式EC155B1型・フランス製）<br>エンジン2基（934馬力／基）、搭乗人員※ 14人<br>最大速度※ 324km／時、航続距離※ 796km |
| 2 | 小型多発ヘリコプター（減機予定）<br>ひよどり（レオナルド式A109E型・イタリア製）<br>エンジン2基（561馬力／基）、搭乗人員※ 8人<br>最大速度※ 311km／時、航続距離※ 522km       |
- ※ 搭乗人員等はカタログデータであり、ヘリテレ等の機体装備・搭載燃料等により大きく変動。

### 2 運用終了予定

令和9年3月31日（令和8年度）

### 3 減機理由

県警察ヘリコプターは、警察庁予算（国費）により警察庁が調達し、国有財産として県警察に配分され、以後の維持費については県費で運用しているところ、国全体の予算が限られる中、警察用航空機（ヘリコプター）の調達価格が高騰等していること等を踏まえ、警察庁において全国の警察用航空機の配備・更新計画が見直された結果、令和5年度以降に更新予定であった一部の航空機が縮減され、本県警察のヘリコプター1機について、更新整備されないこととなったもの。

### 4 今後の対応

災害や複数事案が発生し、県警察ヘリコプターによる対応が困難な場合には、近畿管内の各府県警察や、隣接する鳥取県警察及び香川県警察とも連携の上、空からの活動を通じた県民の安全安心の確保に努める。

また、救助活動等の消防防災活動に含まれる災害や事案については、県防災ヘリにも協力を要請し、事案の対応にあたる。